

# 平成 25 年度 事業報告



## 千葉科学大学

「健康で安全・安心な社会」の構築に貢献できる人材の養成を行う



学生ひとりひとりの能力を最大限に伸ばすために教職員が一致団結して指導し、学生の満足度を高められるよう努力します。

「地域の知的センター」となり、存在感を高められるように努力します。

1. 学習支援センターの機能を向上させて、初年次教育の充実を図ります。東京サテライト教室を開設して危機管理学研究科の教育研究活動を拡充します。
2. 「利根川河口域の新規な微生物統御法に基づく安全な農畜水産イノベーションのための研究基盤形成」というテーマで 25 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の採択を目指します。
3. 看護学部の申請、審査に適格に対応し、平成 26 年度開設を目指します。
4. 防災・減災都市作り、好適環境水を用いた陸上養殖の実用化、銚子ジオパークの具体的な活用法を含む産学官連携体制を作り、国の Center of Community(COC)構想の実現を目指します。

千葉科学大学 学長 赤木 靖春

## 教学の充実

### ■大学の目的、各研究科、各学部の目的

学園建学の理念に基づき、大学の目的を教育では「『健康で安全・安心な社会の構築』に寄与できる人材の育成」、研究では「『健康で安全・安心な社会の構築』の探求」、社会貢献では「地域と共生する大学づくり、平和で文化的な地域づくりへ参画」と定め、実施します。

各研究科各専攻においては教育研究上の目的をそれぞれ定め、各学部各学科もそれぞれ教育目標を設けて、それに向けて実施しました。

### ■銚子ジオパーク

銚子市にある屏風ヶ浦の地層、犬吠埼の浅海堆積物などの優れた貴重な地質遺産を後世に残すと共に観光資源としても活用し、地域住民の郷土愛の育成、環境意識の向上、地元の中学生への良質な地学教育の提供等、銚子市と協力して銚子ジオパークとして認定を受けました。この認定を通して地元の中学生・高校生に地元の地質資源の理解及び普及活動を行い「地育地就」にも貢献します。

### ■千葉科学大学 危機管理学研究科

東京サテライト教室を開設しました。

### ■教員免許状更新講習の実施

地域からの要望もあり、昨年に引き続き教員免許状更新講習を実施しました。

8月3日～8月7日の5日間で延べ494名が受講

## 講習科目

必修領域1講座 8月3日～4日(12時間)

「教育の最新事情」

選択領域12講座 8月5日～7日(1日5～6講座を3日実施)

「薬と人間」

「対人関係の心理学」

「地域発：防災教育のかたち」

「子どもにおける健康危機管理と心肺蘇生法」

「学校の環境衛生～放射線、水、空気、病原体検査～」

「理科指導の体験学習講習 遺伝子研究の現在」

「学校のリスク・危機管理研究」

「コンピュータ・シミュレーション体験実習」

「銚子ジオパークのジオサイトを利用した体験型授業の展開」

「イスラームの教義と慣習」

「物理・化学実験と治療薬の仕組み」

「児童・生徒のキャリア教育とその評価」

## 産官学連携

### ■CISフォーラム

有識者による講演会、大学、企業の研究者が最新の研究成果やシーズを平成25年10月19日 銚子商工会議所にて紹介しました。

### ■COC (Center of Community) の推進

地域を志向した大学として、地域の課題へ向かって大学を開き、地域再生の核となる地(知)の拠点を目指すことで教育・研究・社会貢献を活性化します。

## 平成26年度に向けて

平成25年度より平成26年度開設に向けて、看護学部の設置準備を行い、12月18日付で認可となりました。

## キャリア支援

学生に対する就職支援、キャリア支援、各種資格取得支援、就職先企業の開拓などを行いました。特に、地元出身学生の増加に合わせて、地元および周辺地域企業に重点を置いて開拓を継続しました。

### ■就職支援

3年次生を対象に、就職活動を進める上で必要なテーマを取り上げる就職ガイダンスや、様々な業界を知る業界セミナーを学内で開催しました。

また、3年次生(薬学科は5年次生)全員との個人面談を実施し、個別指導を行いました。

### ■インターンシップ

企業等に学生を派遣するインターンシップに取り組み、夏期休暇中に1～2週間の就業体験を実施しました。

### ■合同企業説明会

採用担当者と本学学生がブース別に面談する合同企業説明会を2回(12月、2月)学内で開催しました。

### ■キャリア支援

キャリア支援科目にスタッフを派遣し自己理解やコミュニケーションの重要性などを学生に伝えました。

### ■公務員試験対策

2月から3月にかけて公務員採用試験の筆記対策として基礎講座(主に1・2年次対象)、実践講座(3年次対象)を開講しました。また、筆記試験合格者に対して、面接対策セミナーを実施しました。

業者主催公務員模擬試験を学内で実施しました。

### ■各種資格取得支援

防災士、危険物取扱者、などの試験対策講座を開講し、資格取得試験を学内で実施しました。

## ■就職先企業開拓

様々な業種の企業を新たに訪問し、就職先の開拓を行いました。特に銚子市周辺の地元企業の開拓に努めました。また、加計グループ5大学1短大共催の企業懇談会（東京、大阪、広島）を開催しました。

## 学生募集

日本初の危機管理学部を擁することを強みに、『人を助けたい、という人の大学』をキャッチフレーズに薬学部、危機管理学部をアピールしました。国家資格である薬剤師、臨床検査技師等の取得、また消防官、警察官など公務員にも強いイメージも強調し、募集活動を強化しました。また平成26年4月に看護学部を開設予定し、医療系、薬学系、看護系の3本柱での学生募集も同時に行いました。

## ■千葉県、茨城県の通学圏の高校に対する広報活動の強化

スクールバスの運行増便を行い、学生の利便性向上を図りました。さらに出張講義等を中心に大学との交流を一層強化し、地元の大学ということをアピールしました。

また、茨城県内の小中学生を中心としたイベントである『青少年のための科学の祭典』に参加し、学術内容や就職実績など、本学を広く積極的に推し進めました。

## ■支局長による広報活動の強化

現在1都11県に支局長を配置しています。今年度は、支局長への情報提供を一層強化し、入試広報課員と一緒に高校訪問を計画するなど、広報活動を強化しました。

## ■教育提携校締結の拡大と関係強化

今年度は協定を締結した高校との相互関係を一層強化できるよう、出張講義、オープンキャンパス参加は勿論、研究発表等の開催や、PTA総会等の開催等の働きかけを行いました。

## ■出張講義の拡大と内容の充実

進学説明会と並び、学外において高校生と直接話が出来る出張講義の実施回数を増やしました。今後も、学部学科の多種多様な内容を、多くの高校生に伝えていきます。

## ■留学生の募集充実

国際交流の観点から留学生の募集を充実させました。特にアジア地域からの留学生募集に重点を置いて実施しました。

## ■e-広報の充実

本学ホームページの内容やユーザビリティをさらに充実するとともに、各業者の主力なWeb企画と連動することで、様々な受験者層に働きかけ、資料請求者の拡大を図りました。また資料請求者へメルマガを発信しました。

## ■オープンキャンパス

薬学部と危機管理学部が共同して行う災害救助演習は継続して実施しました。全てのオープンキャンパスにストーリー性を持たせ、大学のコンセプトを表現しました。企画の中では、参加者が在学生や卒業生と交流が持てるようにしました。また、平成26年4月開設予定の看護学部も含めたオープンキャンパスや看護学部独自の説明会も開催しました。参加した高校生が、「この大学で、この研究室で、こんな研究をしてみたい」という夢と希望が持てるような内容を企画しました。

## ■その他

- 1) 合格者へ対しての入学前相談の実施
- 2) 地元の各種団体との連携
- 3) 県人会活動
- 4) 高校との親密な関係の構築
- 5) 常時学内を見学
- 6) 県別目標入学者数設定による意識の向上
- 7) 交通広告の実施

## 国際交流

### ■留学生受入

4月2日の新入生オリエンテーションから日本語や日本の文化に慣れるように在学留学生の中から日本語能力検定のN1に合格した学生の協力を得て新入生への指導を行いました。

### ■Japan Bowl

4月に米国にて行われる Japan Bowl に出展しました。

### ■海外からの研修団受入

4月	シンガポール交換留学生
6月	Great Falls 研修団 (小学校)
	Langley 高等学校研修団
7月	アメリカ・ブラジル研修団
	フィンドリー仕事体験生終了
10月	シンガポール訪日研修団

### ■日本語能力検定試験

7月・12月の年2回、受験を実施しました。

### ■海外へ研修団派遣

8月	ライト大学へ海外研修団派遣
	フィンドリー大学へ海外研修団派遣
	ブラジル2大学へ海外研修団派遣

### ■特別科目等履修生受入 9月

平成26年度4月の学部入学を目指す学生を入学予定日の6ヶ月前から特別科目等履修生として受入、入学までに日本語及び日本での生活習慣になじめるように指導を行いました。

### ■一日研修旅行 11月

留学生同士の懇親を図ると共に日本人学生との交流を図りつつ、日本文化・地理などに慣れるように千葉県内（鋸山）及び近隣を訪問しました。

### ■加計杯日本語弁論大会 11月

加計グループの関連校に通う留学生を対象に各設置校毎に代表者を決め、岡山で開催される決勝大会へ代表者を送りました。

### ■English Camp (高校生対象) 3月

銚子市内のある高等学校に通う生徒を対象に本学において2日間の英語セミナー（会話を中心）行いました。

## 主な行事

4月2日	新入生オリエンテーション
4月3日 ～5日	新入生宿泊研修
4月5日	在校生前期オリエンテーション
4月7日	入学宣誓式
6月2日	オープンキャンパス
7月27日 ～28日	オープンキャンパス
7月31日 ～8月10日	前期定期試験
8月3日 ～7日	教員免許状更新講習会
8月24日	オープンキャンパス
9月7日	教育進路懇談会（地方）
9月15日	教育進路懇談会（本学）
9月20日	後期オリエンテーション
9月28日	オープンキャンパス
10月19日	CISフォーラム
11月16日 ～17日	青澄祭（大学祭）
11月20日	就職懇談会（東京会場）
12月14日	合同企業説明会
1月22日 ～2月1日	後期定期試験
3月	就職懇談会（広島会場）
3月	就職懇談会（大阪会場）
3月25日	学位記授与式

### ■10周年記念式典

千葉科学大学は、平成25年度で開学10周年を迎えます。大学を挙げて10周年の記念式典(10周年記念講演、清澄祭、その他)の準備を行います。

また、10周年記念誌を作成し、平成26年5月に予定している記念式典にて配布予定です。

## 学生・教職員数

### ■在籍学生数

(平成25年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員	在学者数		秋期入学 ※			
			留学生	社会人		留学生	社会人				
大 学 院	薬学研究科（博士一貫）	3	0	0	0	6	1	0	0		
	薬学研究科（博士）	5	0	0	0	15	3	0	0		
	薬学研究科（修士）	10	6	0	0	20	10	0	0		
	危機管理学研究科（博士）	3	2	0	1	9	4	0	3		
	危機管理学研究科（修士）	5	3	0	2	10	8	2	2		
大学院 計		26	11	0	3	60	26	2	5	0	
学 部	薬 学 部	薬学科（6年制）	120	120	1	0	840	605	14	3	
		薬科学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	11	0	0	
		動物生命薬科学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	2	0	0	
		生命薬科学科	40	23	0	0	180	99	2	0	
	計		160	143	1	0	1,020	717	16	3	0
	危 機 管 理 学 部	防災システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	2	1	0	
		環境安全システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	0	0	0	
		危機管理システム学科	100	96	18	0	410	395	98	0	
		動物・環境システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	130	77	6	0	
		環境危機管理学科	40	29	3	0	80	66	2	0	
医療危機管理学科		80	97	0	0	330	349	0	0		
学 部	工学技術危機管理学科	40	7	0	0	170	45	12	0		
	動物危機管理学科	40	22	0	0	80	61	0	0		
計		300	251	21	0	1,200	995	119	0	0	
学部 計		460	394	22	0	2,220	1,712	135	3	0	
総合計		486	405	22	3	2,280	1,738	137	8	0	
留学生別科		40	19	12	0	40	19	19	0	0	

※ 秋期入学については、5月2日以降（平成25年5月2日～平成26年3月31日）に入学した者です（単位：人）

### ■卒業生数等一覧

(平成25年度)

区分	修了者・ 卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	11	8	8	100%	1	3	0	4
学部	326	228	210	92%	16	65	36	66

※ 修業年限を超えて在籍している学生数（平成26年4月1日現在）（単位：人）

主な就職先	クオール、クラフト、くすりの福太郎、アストラゼネカ、ノバルティスファーマー、千葉県教育委員会、戸田中央医科グループ、東京消防庁、横浜市消防局、警視庁、千葉県警察本部、茨城県警察本部、自衛隊、神栖市役所、国立がん研究センター、昭和大学病院、富士テクノサービス、理化学研究所、独立行政法人水資源機構他
-------	--

### ■教職員数

(平成25年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員 計	事務職員
1	2	54	20	13	11	3	1	105	56

(単位：人)

## 財務関係

### ■消費収支

(単位：千円)

科目	年度	25年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		2,699,378	2,811,139
補助金収入		357,509	392,268
その他収入		167,461	111,868
帰属収入合計		3,224,348	3,315,275
基本金組入額合計		△ 26,705	△ 63,991
消費収入の部合計		3,197,643	3,251,284
人件費		1,939,684	1,796,030
教育研究経費		1,325,989	1,316,251
管理経費		419,495	394,436
その他支出		5,791	1,109
消費支出の部合計		3,690,959	3,507,826

### ■施設整備計画

(単位：千円)

事業名	金額
ネットワーク機器リプレイス (新学部を除く)	59,420
講義室プロジェクター整備	4,329
防災シミュレーションセンタープロジェクター整備	4,389
事務用保管倉庫	499
航空技術危機管理学科図書(創設費)	711
温度変化型屈折率測定装置	8,558
ラーニングcommons 什器	9,660